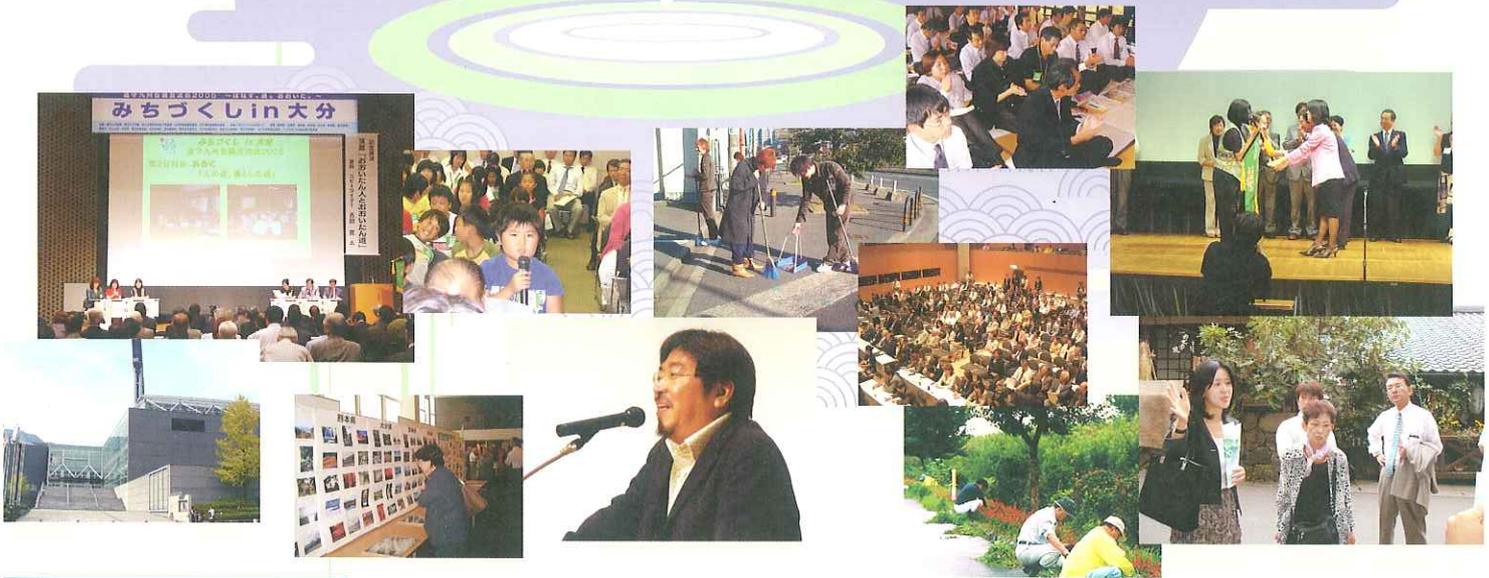


道守九州会議交流会2005



“道”がつないだ交流の場。
2005年大分、2006年は長崎で。



10/6 木

分科会
オープニングセレモニー
記念公演
分科会全体報告会
.....
道守九州会議総会
交流集会

10/7 金

現地学習会(別府/湯布院/日田/杵築/臼杵/竹田)

主催: 道守九州会議 道守大会議 国土交通省九州地方整備局
九州幹線道路協議会 大分県幹線道路協議会
共催: (社)ツーリズムおおいた
後援: 福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県 福岡市
北九州市 別府市 西日本新聞社 佐賀新聞社 長崎新聞社 熊本日日新聞社
大分合同新聞社 宮崎日日新聞社 南日本新聞社 (社)九州建設弘済会
「土木の日」大分地区実行委員会

道守ふくおか会議 道守佐賀会議 道守長崎会議 道守くまもと会議 道守大会議 道守みやざき会議 道守かごしま会議

九州の道守600人が別府に集い、語り、歩く 道の歴史や文化、地域づくりを探る

地域間の交流を道守活動で 全体会議

主会場のビーコンプラザで行われた全体会議。道守九州会議の樗木武代表世話人は「少子高齢化の進むなか、地域間の交流を活性化するためにも道守活動を進めよう」と呼びかけました。道守九州会議総会には各県の道守会議地域世話人が勢ぞろい。1年間の道守活動の広がりや深まりを確認し合いました。



道守会員ら約600人が一堂に会した



九州各県の道守会議地域世話人が集合

6つのテーマで道を語る 分科会・全体報告会

参加者一人ひとりが主役の分科会。別府市内6会場で、テーマごとに各地の実践報告などを交えながら熱のこもった意見交換を行いました。全体報告会では、分科会の座長が論議の内容を紹介し、結果を報告しました。



各分科会の座長が議論の内容を紹介した

第1分科会 つくる「一緒につくる道」 ビーコンプラザ・約110名

自分たちの街は自分たちでつくるという
意思が大切。道守は自ら発案し動いて
いる。行政も攻めの協働を



【パネリスト】◎三原ユキ江（道守佐賀会議世話人、NPO活気会理事長=佐賀）今泉重敏（NPO地域交流センター理事=福岡）福山貞子（牧瀬杏会代表=佐賀）田口昭子（環境美化を考える会会長=長崎）西岡ミチ子（ボトスの会代表=熊本）中川公生（生石港友会会長=大分）矢野初美（北川町道づくりを考える女性の会会長=宮崎）山内芳一（札元商工親睦会顧問=鹿児島）

第2分科会 あるく「人の道、暮らしの道」 竹瓦温泉・約50名

人の道に戻すために、もっと道に愛着を。
歴史・地域・環境の面から、自分たちの
楽しめる道、様々な“僕”道（ぼく
どう）をつくっていききたい



【パネリスト】◎中村幸子（道守くまもと会議代表世話人、熊本の道を語る女性の会代表=熊本）船崎美智子（中国・みちづくり女性会議世話人=山口）八頭司美紀（NPO活気会副理事=佐賀）牧圭子（ケアサポート恵=長崎）詠田トキ子（みやざきフラワーロード・ネットワーク事務局=宮崎）東川隆太郎（まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会専務理事=鹿児島）

第3分科会 たのしむ「楽しみ・活気の公空間」 聴潮閣・約50名

道にまつわる歴史やノウハウを掘り下げ、
次世代につないでいく。地域の皆で一
緒に楽しみながら道づくりを続ける



【パネリスト】◎阿野史子（道守長崎会議代表世話人、ルート34ワークショップ実行委員会代表=長崎）木村三喜男（広島市東区役所区政振興課=広島）比嘉雅貴（道の駅許田駅長=沖縄）峰敏江（さるく博ボランティアガイド=長崎）山下泰雄（日向街道顕彰会事務局=熊本）石丸邦夫（日田市観光協会会長=大分）片野坂千鶴子（NPO法人みやざき子供文化センター=宮崎）

「みちづくしin大分」道守九州会議交流会2005が10月6・7日の2日間、大分県別府市で開かれました。九州各県から「道」に関わるボランティア団体・個人の道守会員や行政関係者ら約600人が参加。道路の景観や交通のあり方、道を舞台にした地域づくりを語り合い、交流を深めました。

みちづくし in 大分
道守九州会議交流会2005
大会宣言

- 一、私達道守は、ゴミのない花の咲く道をつくらうえ
- 一、私達道守は、やすらぎの暮らしの道があるこうえ
- 一、私達道守は、歴史や文化の道をたのしもうえ
- 一、私達道守は、美しい道・感動の道をながめようえ
- 一、私達道守は、元気・にぎわいの道をつくらうえ
- 一、わたしたち“こども道守”は、きれいな道と心をぞだてようえ

道守大会議の桑野和泉代表世話人（本交流会実行委員長）が大会宣言を発表

道守、とるば、道の駅… パネル展

九州各県の道守活動や「とるば」投稿写真、道の駅など“道”に関わる取り組みを紹介するパネル展が開かれ、参加者の関心を集めました。



なしか!のトークで大爆笑 記念講演「おおいたん人とおおいたん道」 吉田寛氏（コピーライター、パーソナリティ）

「道には出会いがあり、地元の人と話すのが大事」と大分弁を交えながらの軽妙トーク。「いらんことを言うのがおじさん、突っ込むのはおばさんが大分人」とラジオ番組「夕方なしか!」の夫婦の会話を披露し、爆笑の講演会となりました。



第4分科会 ながめる「美しい道、感動の道」 おさる館・約60名

道と周囲との調和、道と人との繋がりを
考え直す。美しい道づくりは住民参加型
の美しい地域づくりから



【パネリスト】◎宮崎和恵（道守大分会議会員、シティ情報おいた編集発行人=大分）佐竹章夫（中村商工会議所顧問=高知）山田三代子（道守柳川ネットワーク代表=福岡）中野勝利（島原市教育委員会=長崎）真砂矩男（さつき並木街道100人衆会長=大分）日高晃（橋通りフラワーロード推進協議会代表=宮崎）田島直美（入来町女性団体連絡協議会会長=鹿児島）

※パネリスト表は敬称略、◎は座長、人数は参加者数

第5分科会 おこす「活力、元気を興す道」 別府市中央公民館・約50名

道は地域の文化や人を繋ぐ。道づくり
は地域づくり。交流→連携→創造とい
う道の役割を守り、発展させるのが道
守の役目



【パネリスト】◎神足博美（道守大分会議世話人、大分合同新聞編集局報道部長=大分）大南信也（NPOグリーンパレー理事長=徳島）池田慶子（ロードネット佐賀=佐賀）岡田敏代（おれんじ鉄道八代駅代表=熊本）堀幸子（九州横断道路早期完成を願う女性の会会長=大分）富高かをる（蒲江道づくりを考える女性の会会長=大分）和田皓（日南海岸活性化協議会会長=宮崎）

第6分科会 ぞだてる（新しい力）「こどもが主役の道づくり」 ビーコンプラザ・約120名（別府市青山小学校4年生児童56名他）

子どもたちの「拾っても捨てるのは大人」
という言葉が全て。今のままでは彼らも
無責任な大人になる。大人が襟を正さ
なければ



【パネリスト】◎亀野辰三（道守大分会議副代表世話人、大分高専教授=大分）大谷伸ノ輔（福岡市 名島小学校6年=福岡）赤木慶（佐世保市 聖和女子学院中学校3年・生徒会長=長崎）永尾大樹（球磨郡 五木西小学校6年=熊本）仁田坂裕二（日田市 北部中学校3年=大分）岡本宗重（北中ボランティア会長=大分）吉野千代子（KAGOSHIMA熱闘会議会長=鹿児島）

味と心でおもてなし

交流集会

道守大分会議が県内の道の駅などから集めた特産品、地元料理などで道守会員をおもてなし。最後にみちづくしのペナントを来年開催の長崎県の道守世話人に手渡し、道守活動の発展と再会を誓い合いました。



九州各県の道守関係者が多数集まった



みちづくし開催に尽力した大分の実行委員会



道守大分会議の亀野辰三副代表世話人による乾杯



地元道守による出し物“おへまさん”



各県の道守が順番にステージで抱負を語った



みちづくしペナントは2006年の開催地・長崎へ

大分の道と人を感じる旅

現地学習会

みちづくし2日目は大分県内の道を楽しむ現地学習会。参加者約100名が6つのコースに分かれ、朝から出発。現地案内人の先導で、道守活動の説明を聞いたり、歴史の道や史跡を散策したりして、大分の人・道にふれました。



別府



湯布院



日田



杵築



臼杵



竹田

道守とは

みちもり

「道」を舞台に、あるいはテーマに、さまざまな活動を行っている人々を私たちは「道守」と名付け、その行動を「道守活動」と呼んでいます。

「道守九州会議」は、九州各地で「道」に関する活動を行うNPOや市民団体、企業、研究機関、行政、個人等で構成する任意団体です。道路行政機関や自治体と連携し、民と行政との「協働」を基本に活動をしています。



道守活動の例

道路の清掃・美化▽空き缶やゴミ回収▽草花や樹木の育成・手入れ▽危険箇所の点検・提言▽標識類の点検・提言▽モニタリング(監視・通報)▽安全円滑な道への調査・研究・実践▽道の歴史や文化の発掘・継承・活用など

お問い合わせ・加入申込み

道守九州会議事務局 [(社)九州地方計画協会内]

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1丁目19番3号

TEL. 092-473-1057 (代) FAX. 092-475-0533

道守HP <http://www.michimori.com/> e-mail michimori@michimori.com

九州幹線道路協議会 (国土交通省九州地方整備局及び各県、政令市などからなる道路施策協議機関)